

一般社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟

2020 年度 事業報告書

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

The logo consists of the letters 'ATP' in a bold, black, sans-serif font. The 'A' is stylized with a diagonal slash through it. The 'T' and 'P' are solid and blocky.

目次

- p.3 2020 年度総括
- p.4 役員名簿
- p.5 組織戦略センター報告
 - 1. 財政基盤は安定、強化
 - 2. 経営情報アンケートの実施
 - 3. 製作会社の活躍の場を広げる
 - 4. 広報推進会議
- p.5 メディアセンター報告
 - 1. 「働き方改革」の実現へ
 - 2. 「製作取引の適正化」キャンペーンの強化・継続
 - 3. 「メディア委員会」の活発化で製作力の向上・強化を
 - 4. デジタル時代の新たなコンテンツ展開の推進
- p.6 事業センター報告
 - 1. 第 36 回 ATP 賞テレビグランプリ
 - 2. テレビクリエイターズフェス 2022 東京
 - 3. 育成とセミナー
 - 4. インターンシップ
 - 5. 第 9 回 ATP 若手映画プロジェクト
 - 6. 第 15 回アジアドラマカンファレンス
- p.8 関西センター報告
 - 1. 第 8 回 ATP 上方番組大賞
 - 2. テレビクリエイターズフェス 2022 大阪
 - 3. 関西協議会の開催
 - 4. 在阪放送局との協議
- p.8 2020 年度活動記録 (2020 年 4 月～2021 年 3 月)
- p17 その他

【2020年度総括】

当年度の活動は、新型コロナウイルスの影響で計画が大幅に変わりました。感染拡大防止のため、ほとんどの事業が縮小・中止となりました。よって事業支出は大幅に減少し、黒字決算となりました。製作会社の経営基盤を揺るがす未曾有の事態の中、例年と変わらぬ会員各社のご理解とご協力、そして理事、執行理事並びに各プロジェクトの実行委員各位の活動に深く感謝を申し上げる次第です。

2020年4月7日からの緊急事態宣言発出により、製作活動の停止・縮小が本格化しました。収益の手立てを失った状況を受け、放送事業者には「緊急のお願い」として、スタッフの安全や製作費の追加費用負担などを申し入れました。「経営情報アンケート」では、コロナ禍における業績が前年同期比マイナス21.5%（平均）と深刻な状況が浮き彫りになりました。広報推進会議による記者懇親会では、アンケートで明らかになった経営悪化のデータと製作現場での問題点を報告しました。一昨年立ち上げた、改正労働法に対応するための「働き方改革プロジェクトチーム」は、放送事業者との協議を続けていましたが、2020年4月感染状況の悪化を受け中断しました。その後プロジェクトチームは、日々変化する製作方法と当初抱えていた課題の整理を行い、協議内容にコロナ対策を含める事になりました。そして2021年3月より各放送事業者との協議が再開しました。ワントピック・アンケートでは、放送事業者との間で起きる「製作予算減額」など会員社の声を元に、迅速な実態調査を行いました。

全ての海外事業が中止となりました。国内各事業は、行政機関からの要請や社会情勢を注視し、開催が中止か、締め切り直前まで検討が重ねられました。中止は回避し、多くをオンライン開催に切り替えました。「第36回 ATP 賞テレビグランプリ」「Tokyo Docs 2020」は会場とオンライン配信によるハイブリッド方式にて実施しました。皆様のご協力を得ながらの新たな試みは、続けるべきメリットも多く見つけられました。コロナ禍収束を楽観視せず反省点を踏まえ、今後の開催方法について検討を重ねています。

ATPの活動を映像業界や学生に広く周知するため、Facebook、Instagram、LINE公式アカウントを開設し好評を得ております。ATPが構成員となっている総務省の「放送コンテンツ適正製作取引推進ワーキンググループ」での議論を経て、「放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン(第7版)」が発表され、説明会などで周知、啓発を行いました。

映像産業始まって以来の変革期でありながら、当年度は新型コロナ感染拡大によって製作活動は停滞しました。不安定な状況が続く中、ATP各センターは柔軟な姿勢で「今できること」に取り組んだ一年でした。

一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟
理事長 福浦 与一

【役員名簿】

当年度は、下記の理事メンバーにて事業活動にあたった 《所属会社、役職は2020年6月当時》

氏名	所属社名	役職	
福浦 与一	IVS テレビ制作(株)	代表取締役社長	理事長
相川 弘隆	(株)いまじん	代表取締役社長	副理事長
清水 哲也	(株)ドキュメンタリージャパン	代表取締役	副理事長
長谷川 豊	(株)レジスタ X 1	代表取締役	副理事長
山田 治宗	テレコムスタッフ(株)	代表取締役	副理事長
三門健一郎	ATP 事務局		専務理事
伊藤 慎一	(株)シオン	代表取締役	理事
碓田 千加志	(株)東阪企画	代表取締役	理事
梅原 高実	ユニオン映画(株)	代表取締役社長	理事
大野 光浩	(株)えすと	代表取締役	理事
荻原 伸之	(株)ジッピー・プロダクション	代表取締役	理事
川口 伸之	(株)大河プロダクション	代表取締役	理事
河野 純基	(株)ダイメディア	代表取締役	理事
佐野 奈緒子	大映テレビ(株)	執行役員 プロデューサー	理事
田嶋 敦	(株)東京ビデオセンター	代表取締役社長	理事
中川 幸美	(株)クリエイティブネクサス	取締役	理事
沼田 通嗣	(株)テレパック	取締役	理事
松葉 直彦	(株)テレビマンユニオン	取締役	理事
森田 道明	(株)ジェイワークス	代表取締役	理事
井口 高志	(株)電通	コンテンツビジネス・デザインセンター シニア・プロデューサー	理事
音 好宏	上智大学文学部新聞学科	教授	理事
吉村 文雄	東映(株)	取締役	理事
浦谷 年良	(株)テレビマンユニオン	エグゼクティブプロデューサー	監事
倉内 均	(株)アマゾンラテルナ	取締役会長	監事

【事業報告】

＜組織戦略センター＞ センター長 山田治宗 副理事長

1. 財政基盤の安定、強化

当年度は、新型コロナウイルスの影響により当初予定していたテレビクリエイターズフェス 2021、ATP 新春交歓会 2021、アジアドラマカンファレンスなどの海外イベントの中止などで、事業費の支出が減少した事から、全体収支が大幅プラスとなりました。新規会員の獲得については、正会員、賛助会員共に入会は、ありませんでした。配信会社については、会員各社との取引が増えている昨今の実情から、さらなる連携を目指し、加盟のお願いをしておりますが、まだ入会には至らず、次年度への継続事項と致します。

2. 経営情報アンケートの実施

7月に会員社を対象にした「経営情報アンケート」を実施し、9月に集計結果と分析報告を行いました。今回のアンケートでは、コロナ禍の経営への影響を測るため、2020年4月-9月期の売上(※7月-9月期は見込み)についても回答いただきました。その結果、コロナ禍の影響が出始めた今年4月-6月期の売上は、20%以上の減収となった社が、半数近くを占め、7月-9月期の見込みでも減収と見ている社が大半を占めました。回答社数については、75社(昨年度71社)、回答率61.0%(昨年度58.2%)、アンケート実施時の会員社数123社でした。

3. 製作会社の活躍の場を広げる

当年度は、新型コロナウイルスの影響による海外渡航の自粛もあり、「アジアドラマカンファレンス」や「日韓中テレビ制作者フォーラム」などは、中止となりました。その為、当初予定していたKプロジェクト予算を活用しての、ATP関係者の現地への派遣、視察などはありませんでした。

4. 広報推進会議

ATP賞の受賞式当日に記者懇談会を開催し、懇談会8名、受賞式10名の記者の皆様に参加いただきました。記者懇談会では、グランプリ、最優秀新人賞の発表と合わせて「2020年度ATP経営情報アンケートについて」「新型コロナウイルスの感染拡大と製作会社の状況について」の報告を致しました。記者からは、コロナ禍における製作会社の経営状況や放送局への要望内容などに関する質問が多くありました。SNSを活用したデジタルマーケティングについては、日頃のATPの活動の様子を随時発信し、ATP賞のグランプリ発表時には多くの反響をいただきました。

＜メディアセンター＞ センター長 中川幸美 理事

1. 「働き方改革」の実現へ

前年度(2019年度)「ATP 放送コンテンツ制作の働き方改革プラン 2020」を策定し、放送局への説明を開始しましたが、新型コロナウイルスの影響で全ての放送局への訪問が叶わず、道半ばとなっております。当年度、仕切り直しとしてジャンル別の分科会にて、コロナ禍での制作現場の課題を抽出し、「コロナ禍におけるテレビ番組制作のために」(ATP ホームページに全文掲載)と題した要望書を取りまとめました。3月に、福浦理事長、メディアセンターの局担当者を中心とした働き改革プロジェクトチームのメンバーにて各局への説明を始めました。

2. 「製作取引の適正化」キャンペーンの強化・継続

放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン(第7版)が9月に発表され、会員各社へのメールでのお知らせ及び第34回メディア委員会において、改訂概要の説明を行いました。また、業界全体の取組みとして、ATPと民放連が共同事務局を務めている放送コンテンツ適正取引推進協議会にて、「よくわかる放送コンテンツ適正取引 オンライン研修会」を開催し、放送事業者、番組制作会社の皆様に周知、啓発を行いました。

3. 「メディア委員会」の活発化で制作力の向上・強化を

下記2回のメディア委員会をオンラインにて開催し、周知、共有に努めました。それぞれのテーマは、下記のとおりです。

第33回 ATP メディア委員会「番組制作・取引における著作権問題と法的対応」

第34回 ATP メディア委員会「総務省『放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン』改訂(第7版)に伴う勉強会」

4. デジタル時代の新たなコンテンツ展開の促進

ATPが共催するコンテンツの国際展開を支援するイベント「Tokyo Docs 2020」は、2020年で10周年を迎え、会場の機能を一部残しつつオンラインに軸足を移した、ハイブリッド方式にて実施しました。オンラインへ移行したことにより、ドキュメンタリー制作に力を入れるヨーロッパの公共放送(BBC、France TV、ARDなど)や、Netflix、中国のTencent、bilibiliなどの動画配信事業者からの参加者が例年よりも増えたことが、メリットとなりました。

<事業センター> センター長 相川弘隆 副理事長

1. 第36回 ATP 賞テレビグランプリ

当年度の受賞式は、受賞者のみの参加とし、当初の7月開催から10月に順延して開催致しました。番組部門140作品の頂点となるグランプリには、「BSフジサンデースペシャル ザ・ノンフィクション特別編おじさん、ありがとう」～子供たちへ...熱血和尚の遺

言～(バンエイト/BSフジ、フジテレビジョン)が輝きました。最優秀新人賞には、優秀新人賞3名の中から梅澤慶光さん(テレビ朝日映像)が選出されました。

受賞式の模様は、ATP公式YouTubeチャンネルにて、受賞式の翌週に、放送局、関連団体、ATP会員社、受賞関係者に向けて配信を行いました。

2. テレビクリエイターズフェス 2022 東京

当年度は、予定していた会場での対面形式とWebを併用したハイブリッド開催からWeb開催へと変更しての開催と致しました。出展社と業界を目指す学生とが出会えるチャンスの場として、これまで好評を得てきましたが学生側にすると足を運ばずとも画面を通じて意中の会社とのコミュニケーションが取れると想定外な反応をいただきました。

3. 育成とセミナー

「ATP合同新人研修セミナー2020」については、当初の会場開催からリモート開催へと変更し、プログラムも縮小し、1日開催としました。参加者は、31社より146名。研修では、社会人としての基本である「マナー研修」や放送倫理に関する「コンプライアンス研修」、「AD最初のさいしょ」では制作現場でのADの心得えや役割などについて学びました。初のリモート開催となりましたが、参加の新入社員からは、「どの研修もわかりやすく、社会人としての自覚を強く持つことの出来る研修だった」など好意的な感想が多く寄せられました。

4. インターンシップ

ATPサマーインターンシップについては、毎年8月から9月中旬までの約1ヶ月半に亘って実施しておりますが、当年度は、2007年の開始以来、初の中止となりました。テレビクリエイターズインターンシップ2022(半日インターンシップ)については、リモート開催にて全20回を開催致しました。従来の会場開催に比べ、地方の学生の参加が目立つようになりました。

5. 第9回ATP若手映画プロジェクト

企画の募集は、6月1日開始、10月末締切り。応募企画は、1企画のみとなりましたが、選考委員の厳選なる審査の結果、下記企画が全会一致で採択との結論に達し、理事会での承認を経て正式に採択となりました。企画の採択は、2016年度の第5回以来となりました。採択された企画は、下記のとおりです。

『ドキュメンタリー映画「マイスマールランド」』〔応募社：(株)AOI Pro.〕

6. 第15回アジアドラマカンファレンス2020

当年度は、中止となりました。

＜関西センター＞ 長谷川豊 副理事長 センター長 森田道明 理事

1. 第8回 ATP 上方番組大賞

当年度は、受賞者のみに限定し、会場での受賞式を予定しておりましたが、2021年1月13日緊急事態宣言の発出により、受賞式を中止し、リモートにてグランプリ及び最優秀新人賞の発表を行いました。グランプリは、優秀賞3作品の中から、「ちょこっと京都に住んでみた。」（松竹撮影所／テレビ大阪 テレビ東京系列6局ネット）に輝きました。最優秀新人賞には、新人賞4名の中から、桑名幸平さん（ダイメディア）が選出されました。受賞式が中止となった事から、後日、グランプリ、最優秀新人賞の発表の様子や受賞作品の紹介を配信にて行いました。

2. テレビクリエイターズフェス 2022 大阪

当年度は、予定していた会場での対面形式と Web を併用したハイブリッド開催から Web 開催へと変更しての開催と致しました。

3. 関西協議会の開催

新梅田研修センターにて関西会員社の代表取締役や役員、14名の参加により関西協議会を開催しました。協議会では、コロナ禍での第8回 ATP 上方番組大賞の受賞式の開催について、テレビクリエイターズフェス 2022 の開催案などについて、議論、検討が行われました。また、コロナ禍における関西各局の安全対策等への取組みについても参加者にて共有を致しました。

4. 在阪放送局との協議

在阪放送局に要望している働き方改革についての ATP の考え方「緊急提言」及び「在阪製作会社 令和2年度の課題」については、当年度は、協議会の場を設けられなかったため、大きな進展はありませんでした。引き続き次年度の継続課題としました。

【2020年度活動記録】

※敬称略 ※会社名・肩書きは当時のもの

《2020年》

4月

●ATP 合同新人研修セミナー2020

日時：4月2日(木)10:00-16:30

会場：Zoom によるリモート開催

参加者：31社 146名

プログラム：

『ATP とは』 (製作会社の働き方改革など) 説明: 清水哲也(ATP 副理事長)
『コンプライアンス研修』 講師: 福井宏(日本テレビ放送網)、後藤俊哉 (日本テレビ放送網)
『マナー研修』 講師: 井原恵津子 (オフィス・グランツ)
『AD 最初のさいしょ』 講師: 野澤尚弘(IVS テレビ制作)、三好剛(IVS テレビ制作)

- Tokyo Docs 2020 第3回 海外展開を目指す!企画開発ワークショップ
日時: 4月30日(木)18:00-20:45 Zoom 開催
内容: 【第1部】国際市場で求められる「SWOT」とは?
【第2部】グループ・ブレインストーミング

5月

- Tokyo Docs 2020 第4回 海外展開を目指す!企画開発ワークショップ
日時: 5月28日(木)18:00-20:45 Zoom 開催
内容: 【第1部】物語の三幕構成
【第2部】グループ・ブレインストーミング

- 放送局への緊急のお願い 要望書提出 (各局へメールにて提出)
日時: 5月29日(金)
要望書: 「コロナ・ショック」を乗り越えるテレビ番組製作のために...
～ATP 会員社へのアンケート結果を踏まえた“お願い”～
※要望書の詳細は、ATP ホームページを参照ください。

<http://www.atp.or.jp/rights/statement.php>

6月

- 局訪問 NHK
日時: 6月2日(火)10:00-11:10
場所: NHK 放送センター編成局 第一打合せ室
議題:
◇NHK プラスについて
◇新型コロナウイルス感染拡大に対する ATP からの要望書について、他

- TV CREATORS INTERNSHIP 2022
日時: 6月27日(土) 15:00-18:00
場所: Zoom によるリモート開催 参加者: 16名
講師: 松葉直彦 (テレビマンユニオン)
パネリスト: 東田陽介 (テレパック)、成瀬貴紀 (クリエイティブネクサス)
加藤信 (大河プロダクション)、日景千秋 (NHK エンタープライズ)

- Tokyo Docs 2020 第5回 海外展開を目指す!企画開発ワークショップ
日時: 6月25日(木) 18:00-20:45 Zoom 開催
内容: 【第1部】Tokyo Docs 2020 対策と傾向/コロナ禍の国際マーケットで羽ばたかせるために
【第2部】グループ・ブレインストーミング

●Tokyo Docs 「Master Class」 General Session

日時：6月29日(月)16:00～17:30

内容：ベルギーの講師との面談を兼ねた講義

7月

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：7月4日(土)15:00-18:00

場所：Zoomによるリモート開催、参加者：18名

講師：長谷川泰久(アマゾンラテルナ)

パネリスト：日景千秋(NHKエンタープライズ)、東田陽介(テレパック)

成瀬貴紀(クリエイティブネクサス)、加藤 信(大河プロダクション)

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：7月18日(土)15:00-18:00

場所：Zoomによるリモート開催、参加者：35名

講師：桑原慶介(ジッピー・プロダクション)

パネリスト：宮川宗生(ホリプロ)、神谷美帆(東阪企画)

池山珠子(テレコムスタッフ)、安藤元気(テレパック)

●Tokyo Docs 「Master Class」 オンライン合宿 7月23日(木)-24日(金) Zoom開催

内容：ピッチングに向けた基本講座

参加者：Master Class 受講者

「骨を掘る男」奥間勝也(ムーリンプロダクション)

「ひきこもり」森葉月(中京テレビ)

「女芸人と鬼コーチ」藤重道治(日テレアックスオン)

「薩摩焼を継ぐ」新田義貴(ユーラシアビジョン)

「失われた楽園を求めて」和田好充(TBS スパークル)

8月

●Tokyo Docs 「Master Class」 オンライン合宿 8月1日(土)-2日(日) Zoom開催

内容：ピッチング演習

参加者：Master Class 受講者

●関西協議会

日時：8月4日(火)15:00-17:00

場所：新梅田研修センター

議題：

◇第8回 ATP 上方番組大賞について

◇新型コロナウイルス各局の新たな動きについて

◇テレビクリエイターズフェス 2022 について、他

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：8月6日(木)15:00-18:00

場所：Zoomによるリモート開催、参加者：27名
講師：宮澤祐樹（いまじん）
パネリスト：一刈 英里香（ユニオン映画）、佐野奈緒子（大映テレビ）
齋藤健太（いまじん）、池田爽輝（えすと）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：8月13日（木）15:00-18:00
場所：Zoomによるリモート開催、参加者：22名
講師：長谷川泰久（アマゾンラテルナ）
パネリスト：中島叶（ホリプロ）、清沢大地（ジッピープロダクション）
富田大介（シオン）、奥村健太（メディア・ワン）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：8月20日（木）15:00-18:00
場所：Zoomによるリモート開催、参加者：26名
講師：宮澤祐樹（いまじん）
パネリスト：小林陽平（ダイズ）、山本あづる（東阪企画）
牧侑太（テレビマンユニオン）、三浦由舞（ジッピープロダクション）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：8月27日（木）
場所：Zoomによるリモート開催、参加者：26名
講師：松葉直彦（テレビマンユニオン）
パネリスト：吉野達希（ジッピープロダクション）、村田欣也（いまじん）
池田一葵（テレビマンユニオン）、霜田一寿（ザ・ワークス）

9月

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：9月3日（木）15:00-18:00
場所：Zoomによるリモート開催、参加者：32名
講師：長谷川泰久（アマゾンラテルナ）
パネリスト：三瀬竜弥（東京ビデオセンター）、北野拓（NHKエンタープライズ）
堀江拓真（メディアプルボ）、稲葉一将（東通企画）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：9月17日（木）15:00-18:00
場所：Zoomによるリモート開催、参加者：28名
講師：宮澤祐樹（いまじん）
パネリスト：三浦由舞（ジッピープロダクション）、山本喜彦（メディアミックスジャパン）
倉田清香（ドキュメンタリージャパン）、
上ヶ迫奨悟（ジャパネットコミュニケーションデザイン）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：9月26日(土) 15:00-18:00

場所：Zoomによるリモート開催、参加者：31名

講師：桑原慶介(ジッピー・プロダクション)

パネリスト：吉仲哲也(シオン)、中尾阿実(東阪企画)

柳翔太郎(ダイメディア)、芝崎志穂(ジッピープロダクション)

●局訪問 NHK

日時：9月23日(火)17:00-17:55

場所：Teamsによるリモート開催

議題：

◇委託会社の社員による記録媒体の紛失について

10月

●第33回メディア委員会

日時：10月7日(水)16:00-18:30

場所：Zoomによるリモート開催

内容：第1部 メディアセンター報告(総務省ガイドライン改定進捗説明、他)

第2部「番組制作・取引における著作権問題と法的対応」

講師：高田伸一、福地 研志(Field-R 法律事務所)

参加者：35社 95名

●第36回 ATP 賞テレビグランプリ 受賞式

日時：10月22日(木)

会場：六本木ハリウッドホール

配信：10月26日(月)～10月31日(土)

・グランプリ

ドキュメンタリー部門 BS フジサンデースペシャル ザ・ノンフィクション特別編

「おじさん、ありがとう」～子供たちへ...熱血和尚の遺言～

(バンエイト/BSフジ、フジテレビジョン)

・最優秀賞

ドラマ部門 ドラマ24「コタキ兄弟と四苦八苦」

(AOI Pro./テレビ東京、NTTぷらら、Paravi)

情報・バラエティ部門「オオカミちゃんには騙されない」

(テレビマンユニオン/ABEMA SPECIALチャンネル)

・最優秀新人賞

梅澤慶光(テレビ朝日映像)

※受賞作品等の詳細は、ATP ホームページを参照ください。

http://www.atp.or.jp/awards/atpaward/award_036.php

11月

●Tokyo Docs 2020 11月3日(火)～11月6日(金) Zoom・会場開催

場所：JA 共済ビル カンファレンスホール配信会場

内容：

11月3日（火）アジアデー Colors of Asia 2021／Colors of Asia 2020 シンポジウム

11月4日（水） Main Pitch （Day 1）

11月5日（木） Main Pitch （Day 2）／Meet the Guests

11月6日（金） Short Documentary Showcase

10月31日（土）～11月14日（土） Tokyo Docs 10周年記念オンライン上映会

参加：15か国、地域 海外42名、国内8名

今回は一般参加者や、時差のためにライブ参加が難しい海外ディビジョン・メーカーのために、それぞれのセッションが行われた翌日から11月14日まで、特設サイトにてアーカイブ配信を行った。メインのピッチング・セッション（Colors of Asia ピッチ、ショート・ドキュメンタリー・ショーケースも含む）、ミート・ザ・ゲストの視聴ページは、一般視聴の場合には有料（1,000円）で開設した（NPO法人 Tokyo Docs 会員、招待者は無料コードを配布）。

視聴人数は下記のとおり。

- ・ピッチング・セッション／ミート・ザ・ゲスト 69（うち、有料20）人
- ・COA シンポジウム 57人
- ・10周年記念上映会 170人

（受賞企画）

・最優秀企画賞

『ドライビング・イントゥ・ザ・ストーム／DRIVING INTO THE STORM』

Director：高倉 天地（テムジン） Producer：康 世偉、劉 珊珊（テムジン）

『Breaking the News』

Director：シアラ・アン・ガルシア・ザンブラーノ

Producer：カルロ・ジョエル・ブルゴス・グティエレス／ベビー・ルース・ヴィララマ（Voyage Film Studios）

・優秀企画賞

『ファースト ステップ —神経を再びつなぐ iPS 細胞治療最前線—／FIRST STEPS』

Director：伊藤 英里子 Producer：土井 研吾（東京ビデオセンター）

『私の母は能楽師／My Mother Is A Noh Actor』

Director：卓 翔（A Priori Image） Producer：陳 芷琪（A Priori Image）

Co-Producer：田中志織理（ドキュメンタリージャパン）

『Dear Juliet』

Director：チェン・ハン・シン（Cheng Herng Shinn Films）

Producer：山本 妙（パオネットワーク）

『東京リトルネロ／TOKYO ritornello』

Director：松井 至（テムジン） Producer：平野 まゆ（テムジン）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：11月14日（土）15:00-18:00

場所：Zoom によるリモート開催、参加者：29名

講師：長谷川泰久（アマゾンラテルナ）

パネリスト：木曾貴美子（メディアミックス・ジャパン）、大島明（テレビマンユニオン）
下地敏史（いまじん）、小林陽平（ダイズ）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：11月28日（土）15:00-18:00

場所：Zoomによるリモート開催、参加者：29名

講師：桑原慶介（ジッピー・プロダクション）

パネリスト：櫻田惇平（ホリプロ）、船津翔（ジッピー・プロダクション）

中島和浩（テレコムスタッフ）、加藤信（大河プロダクション）

12月

●第34回メディア委員会

日時：12月2日（水）16:00-18:30

場所：リモート開催

内容：第1部 各放送局(WOWOW、NHK)との協議報告

第2部「放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン」勉強会

講師：松村 俊二 ATPメディアセンター執行理事/(株)共同テレビジョン権利開発部 部長

放送コンテンツ適正製作取引推進ワーキンググループ 構成員

参加者：27社 61名

●Tokyo Docs ドキュ・メント 2020 12月5日（土）-6日（日） Youtube Live 開催

場所：一龍屋台村で配信

内容：制作者によるトーク&上映会 など

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：12月12日（土）15:00-18:00

場所：Zoomによるリモート開催、参加者：25名

講師：宮澤祐樹（いまじん）

パネリスト：笹沼未冬（やんかわ商店）、池田一葵（テレビマンユニオン）

小泉開渡（ジッピー・プロダクション）、根本紘希（ユーコム）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：12月19日（土）15:00-18:00

場所：Zoomによるリモート開催、参加者33名

講師：桑原慶介（ジッピー・プロダクション）

パネリスト：笹沼未冬（やんかわ商店）、斉木敏人（ジッピー・プロダクション）

根本裕太（ダイメディア）、出口明日香（東京ビデオセンター）

【2021年】

1月

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：1月9日（土）15:00-18:00

場所：Zoomによるリモート開催、参加者：32名

講師：桑原慶介（ジッピー・プロダクション）

パネリスト：佐藤慎太郎（ホリプロ）、佐野真紀（レジスタエックスワン）

杠駿平（テムジン）、小林優助（東京ビデオセンター）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：1月16日（土）15:00-18:00

場所：Zoomによるリモート開催、参加者：28名

講師：松葉直彦（テレビマンユニオン）

パネリスト：山本あづる（東阪企画）、高梨智子（ジッピー・プロダクション）

神保知彦（クリエイティブネクサス）、馬場令華（やんかわ商店）

●局訪問 NHK

日時：1月12日（火）15:25-16:40

場所：Teamsによるリモート開催

議題：

◇コロナ関連経費について

◇演出委託について

●ATP 会員社ワントピック・アンケート「制作予算減額について」

アンケート実施期間：2021年1月25日（月）～2月1日（月）

回答社：9社（ドラマ2社：情報・バラエティ：6社 ドキュメンタリー：1社）

●第8回 ATP 上方番組大賞 グランプリ、最優秀新人賞発表

日時：1月26日（火）

会場：リモート発表

配信：2月10日（水）～3月10日（水）

グランプリ

ちょこっと京都に住んでみた。

（株式会社松竹撮影所 / テレビ大阪（テレビ東京系列6局ネット））

最優秀新人賞

桑名幸平（ダイメディア）

※受賞作品等、詳細は、ATP ホームページよりご確認ください。

http://www.atp.or.jp/awards/atpaward_kansai/award_008.php

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：1月30日（土）15:00-18:00

場所：Zoomによるリモート開催、参加者：31名

講師：長谷川泰久（アマゾンラテルナ）

パネリスト：加地源一郎（NHK エンタープライズ）、森山悠（えすと）

戸田有司（オルタスジャパン）、小田葉月（いまじん）

2月

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：2月4日（木）15:00-18:00

場所：Zoomによるリモート開催、参加者：29名

講師：宮澤祐樹（いまじん）

パネリスト：三本千晶（テレパック）、馬場令華（やんかわ商店）

大西隼（テレビマンユニオン）、三浦由舞（ジッピー・プロダクション）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：2月18日（木）15:00-18:00

場所：Zoomによるリモート開催、参加者：23名

講師：松葉直彦（テレビマンユニオン）

パネリスト：塩村香里（TBS スパークル）、北村朋広（IVS テレビ制作）

寺崎みずほ（グループ現代）、小林泰（ジッピー・プロダクション）

●放送コンテンツ適正取引推進協議会「よくわかる放送コンテンツ適正取引 オンライン研修会」

日時：2月19日（金）15:00-17:00

場所：Zoomによるリモート開催

講師：池田朋之（民放連・下請取引専門部会長／㈱テレビ東京・執行役員）

松村俊二（ATP・メディアセンター執行理事／㈱共同テレビジョン・権利開発部部長）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2022

日時：2月25日（木）15:00-18:00

場所：Zoomによるリモート開催、参加者：=名

講師：宮澤祐樹（いまじん）

パネリスト：天宮沙恵子（TBS スパークル）、長田達矢（シオン）

小久保純子（グループ現代）、関谷倫寿（ジッピー・プロダクション）

3月

●局訪問

議題：コロナ禍におけるテレビ番組製作の為の要望

- (1)番組制作費と各対策費の明確化を
- (2)「働き方改革」を実現する製作体制の確立を
- (3)人材育成に資する改革を

※要望書の詳細は、ATP ホームページを参照ください。

<http://www.atp.or.jp/rights/statement.php>

日程：

3月8日(月) フジテレビ、日本テレビ、3月17日(水) テレビ朝日、テレビ東京

3月24日(水) TBS、3月25日(木)NHK、3月31日(水) WOWOW

●TV CREATORS FES 2022 東京

日時：3月15日（月）

会場：Web 開催

出展社：26社

●TV CREATORS FES 2022 大阪

日時：3月28日（日）

会場：Web開催

出展社：9社

【その他】

1. 総会

●第8回通常総会（決算総会）

日時：2020年6月10日（水）15:30 - 16:30

場所：コンベンションホール AP 浜松町 地下1階「Aルーム」及びリモート会議

議案：

承認事項：

第1号議案 2019年度事業報告書および決算報告書

第2号議案 役員改選に伴う理事、監事について

報告事項： 2020年度事業計画、2020年度収支予算

2. 理事会 2020年度の理事会は、全7回開催しました。

●第43回定例理事会・第1回役員候補者合同会議

日時：5月15日（金）14:30-16:30

場所：リモート会議

承認事項：

新役員体制について 承認

19年度決算報告書(案)について 承認

20年度事業の計画修正について 承認

第8回定時総会について 承認

MPTE AWARDS 2020 第73回表彰式後援名義申請について 承認

●第44回定例理事会

日時：6月10日（水）16:30-17:00

場所：コンベンションホール AP 浜松町 地下1階「Aルーム」

承認事項

代表理事選定について 承認

副理事長、専務理事選定について 承認

●第45回定例理事会

日時：6月26日（金）14:30-16:30

場所：コンベンションホール AP 浜松町 地下1階「Aルーム」

承認事項：報告事項のみ

●第46回定例理事会

日時：9月25日（金）14:30-16:30

場所：コンベンションホール AP 浜松町 地下1階「ルーム O+N」

承認事項：

2020年度経営情報アンケートについて 承認

●第 47 回定例理事会

日時：11 月 27 日(金)14:30-16:30

場所：コンベンションホール AP 浜松町 地下 1 階「ルーム O+N」

承認事項：

JPPA AWARDS 後援名義申請について 承認

●第 48 回定例理事会

日時：2021 年 1 月 29 日(金)14:30-16:00

場所：リモート会議

承認事項：報告事項のみ

●第 49 回定例理事会

日時：2021 年 3 月 26 日(金)14:30-16:00

場所：AP 浜松町

承認事項：

2020 年度 事業報告書（案）について 承認

2021 年度事業計画書（案）について 承認

2021 年度予算書（案）について 承認

●電子承認

日本脚本家連盟放送使用等に関する「覚書」改定について 承認 2020 年 6 月 19 日

第 36 回 ATP 賞特別賞候補について 承認 2020 年 9 月 4 日

第 9 回若手映画プロジェクト応募企画採択について 承認 2020 年 12 月 25 日

3. 入退会

●入会

●退会

株式会社スペクター・コミュニケーションズ(5月)

以上